



カルビーグループ決算説明会

2013年4月1日～2013年6月30日

カルビー株式会社 2013.8.9



掘りだそう、自然の力。

Calbee

2014年3月期第1四半期決算報告

執行役員 財務經理本部長
菊地 耕一

	2013年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	伸び率	計画比
	百万円	百万円	%	%
売上高	43,295	47,551	+ 9.8	102.8
売上総利益	18,801	20,871	+11.0	103.8
販売管理費	15,015	16,302	+ 8.6	103.2
販売費	5,982	6,889	+15.2	108.0
物流費	2,972	3,241	+ 9.1	103.9
人件費	3,816	4,040	+ 5.9	101.0
その他	2,244	2,129	△ 5.1	92.6
営業利益	3,785	4,569	+20.7	106.3
経常利益	3,596	5,019	+39.6	116.7
特別損益	△ 57	346	—	—
四半期純利益	2,073	3,213	+55.0	124.8

売上・利益ともに計画達成

売上高

ポテト系スナック、Vegips、フルグラ、海外事業が伸長

売上総利益

増収による利益増とコスト・リダクション効果により0.5ポイント改善

販売管理費

販売費は国内、海外ともに積極投入

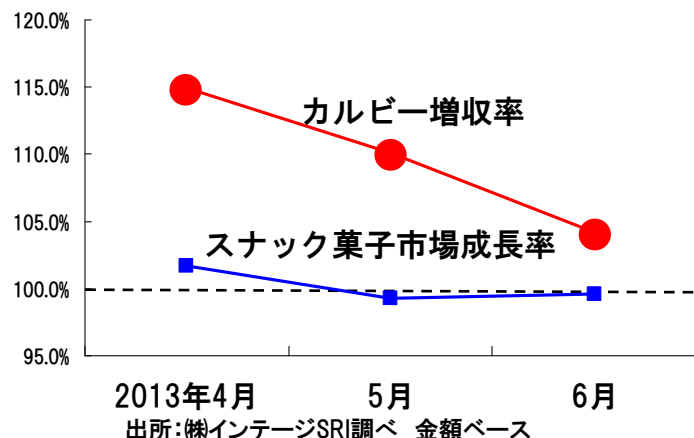
営業外収益

為替差益 378百万円

特別利益

投資有価証券売却益 374百万円

■ 連結売上高 前年同月比



■ 増収要因 製品別 百万円

売上高	百万円
国内	+ 2,807
ポテト系スナック	+ 1,050
ベジップス等新規	+ 669
シリアル食品	+ 605
その他	+ 481
海外	+ 1,448
北米	+ 360
中国	+ 335

■ ポテト系スナック

じゃがりこ

Lサイズ (72g) が好調



■ Vegips等新規

2012年10月から全国展開

2013年6月 新製品発売



■ シリアル食品

『フルグラ』の供給が間に合わず、
380gと800gに絞って展開

新製品発売も延期

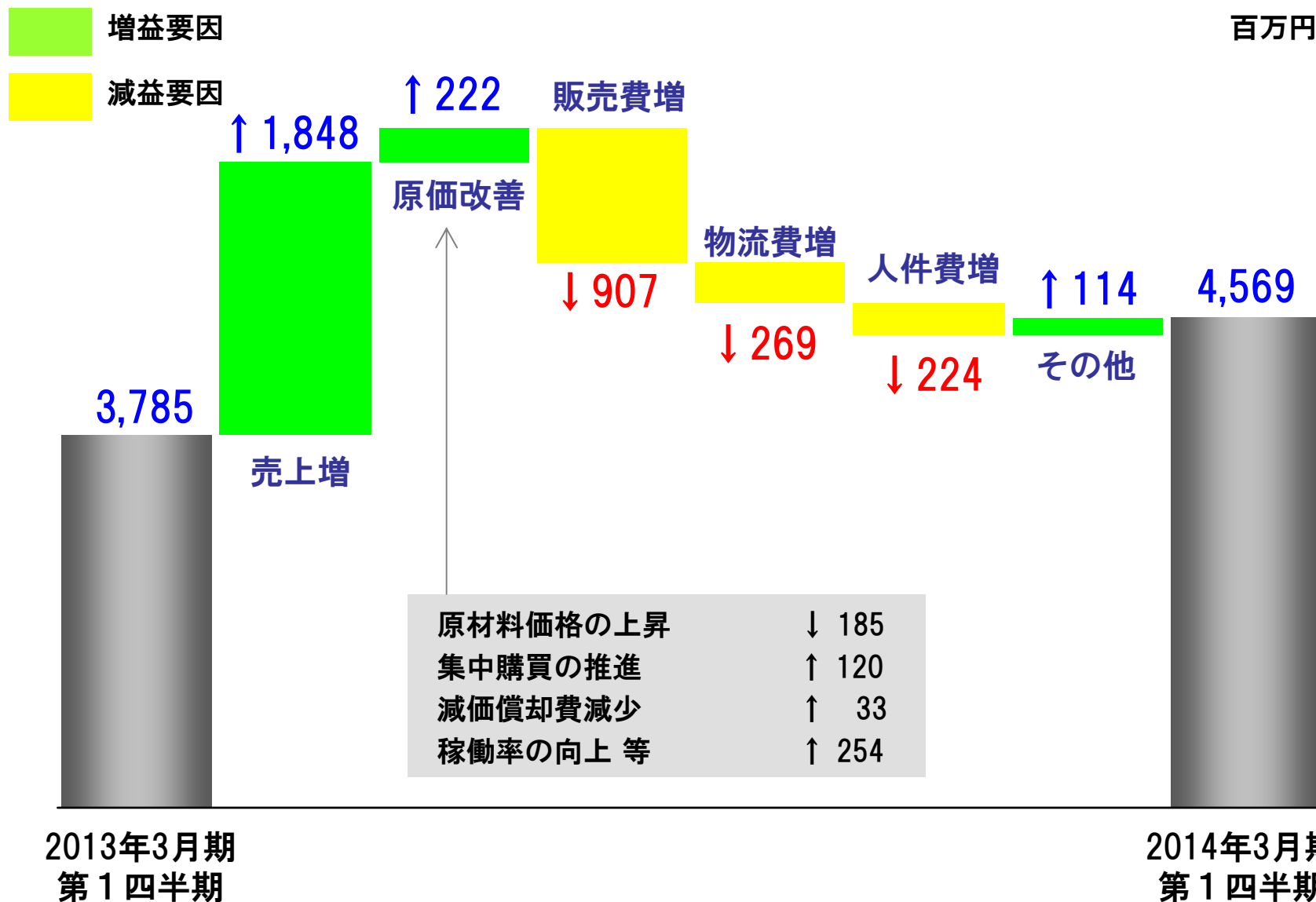
来春までに生産能力を拡大



■ 海外

タイを除くすべての国で増収

2014年3月期第1四半期 増益要因



計画達成に向けて

執行役員 総合企画本部長
江口 聡

成果

- 海外戦略の実現
 - ・ 北米・中国で本格展開開始
- 国内市場は高いシェアを維持
 - ・ ポテトチップスのシェア（前期）67.4% →（当第1四半期）66.8%
 - ・ スナック菓子市場シェア（前期）52.3% →（当第1四半期）52.3%
- コスト・リダクション
 - ・ 売上原価率（計画）56.5% →（実績）56.1%

今後の取組み

- 海外戦略の実現
- 国内市場シェアのさらなる拡大
- フルグラ・新製品(Vegips等)の販売拡大
- さらなるコスト・リダクション

出所：(株)インテージSRI調べ 金額ベース スナック菓子市場シェアはカルビーとジャパンフリトレーの合計
ポテトチップス市場：ポテトチップス(生薄切り・生厚切り)・ポテトシュースト・ケトル合算
前期：2012年4月～2013年3月の累計 当第1四半期：2013年4月～6月の累計

■ 国別売上高

円ベース

		2013年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	伸び率
北米	百万円	573	933	+62.9%
中国	百万円	242	577	+138.5%
韓国	百万円	420	667	+58.7%
タイ	百万円	483	615	+27.1%
香港	百万円	476	613	+28.7%
台湾	百万円	-	237	-

現地通貨ベース

		2013年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	伸び率
北米	千ドル	7,174	9,395	+30.9%
中国	千元	19,123	35,701	+86.7%
韓国	百万ウォン	6,080	7,549	+24.1%
タイ	千バーツ	190,917	186,973	△2.1%
香港	千HKドル	46,387	47,890	+3.2%
台湾	千NTドル	-	71,374	-

各国の状況

■ 北米

Ruffles® Crispy Friesの販売開始

■ 中国

康師傅・伊藤忠商事との合併事業開始

■ 韓国

ポテトチップス、Jagabeeが好調

■ タイ

主力製品のJAXXは堅調
かっぱえびせんなどが前年割れ



■ 香港

Jagabeeが好調



■ 台湾

Jagabeeが好調
供給が間に合わず、設備を増強予定

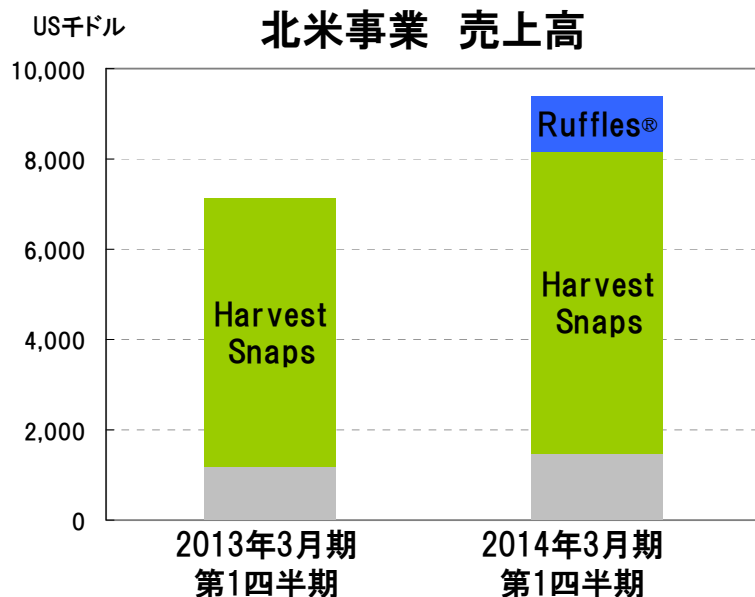
北米

■ Harvest Snaps

リニューアル効果で売上伸長

■ Ruffles®

5月20日 セブンイレブンで販売開始
第2四半期以降 販売チャネルを拡大



中国

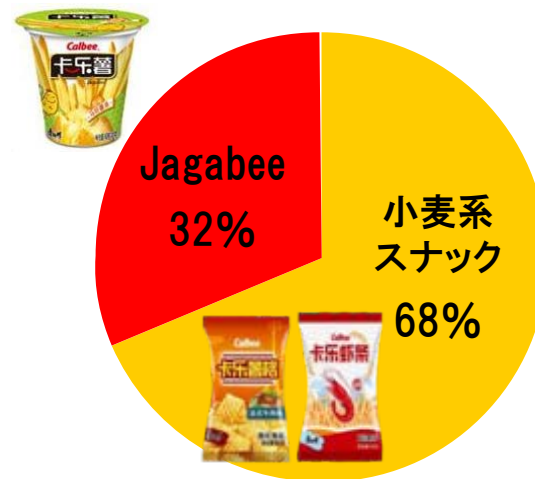
■ 製品

4月にJagabee3品、小麦系4品で販売開始
Jagabeeは小売価格が高く苦戦

■ 販売戦略

第1四半期はファミリーマート中心
第2四半期以降 販売チャネルを拡大

杭州カルビー 売上構成



■ ポテトチップスのシェア拡大

- ・ 厚切り・堅あげポテトの強化

増量キャンペーンの実施
新フレーバー発売

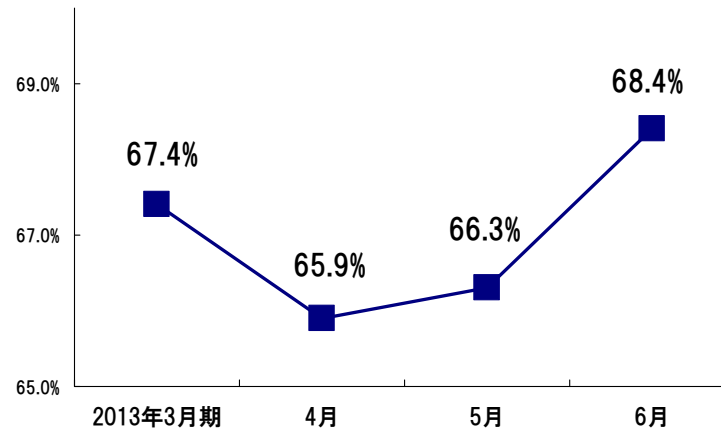


■ Vegips

- ・ 2013年5月に規格改定
(玉ねぎ かぼちゃ じゃがいも 26g→30g)
- ・ 新製品 (さといも にんじん ごぼう)
順次販売エリアを拡大
6月～ 近畿、9月～ 中部、10月～ 中四国
- ・ 8月、9月 販売促進強化
- ・ 10月～ 新TVCF、試食機会拡大

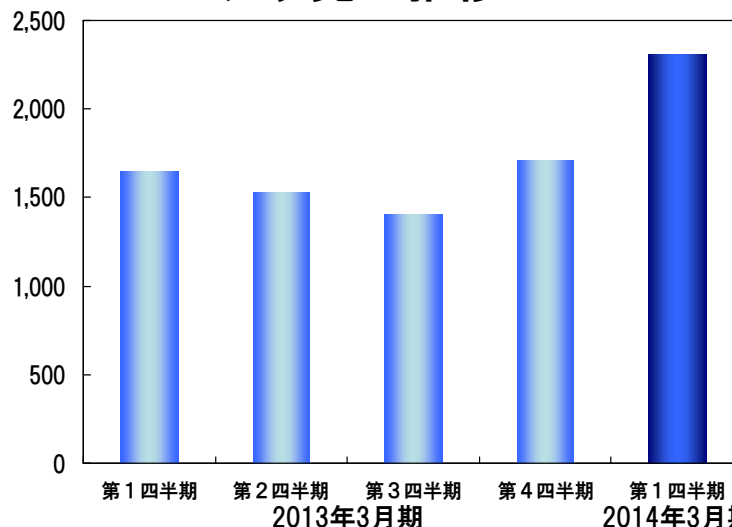


■ ポテトチップス市場シェア



出所：(株)インテージSRI・ポテトチップス(生薄切り・生厚切り)・
ポテトシュースト・ケトル合算 全国全業態 金額ベース

■ フルグラ売上推移 百万円



参考資料

製品別売上高

百万円

	2013年3月期 第1四半期			2014年3月期 第1四半期		
	金額	構成比	伸び率	金額	構成比	伸び率
ポテト系スナック	24,754	57.2%	+18.8%	25,804	54.3%	+4.2%
ポテトチップス	14,890	34.4%	+13.9%	15,004	31.6%	+0.8%
じゃがりこ	6,933	16.0%	+24.3%	7,668	16.1%	+10.6%
Jagabee	2,317	5.4%	+31.3%	2,433	5.1%	+5.0%
小麦系スナック	5,053	11.7%	+39.1%	5,452	11.5%	+7.9%
コーン系スナック	3,458	8.0%	△ 3.9%	3,870	8.1%	+11.9%
ベジップス等新規スナック	836	1.9%	+141.6%	1,506	3.2%	+80.1%
海外	2,196	5.1%	+51.9%	3,644	7.7%	+65.9%
その他	533	1.2%	△ 12.6%	450	0.9%	△ 15.6%
スナック計	36,833	85.1%	+20.9%	40,728	85.7%	+10.6%
ベーカリー	3,497	8.1%	+4.3%	3,127	6.6%	△ 10.6%
シリアル	2,299	5.3%	+65.3%	2,904	6.1%	+26.3%
その他食品計	5,796	13.4%	+22.1%	6,031	12.7%	+4.1%
役務提供	665	1.5%	+39.6%	791	1.7%	+18.9%
売上高合計	43,295	100.0%	+21.3%	47,551	100.0%	+9.8%

2013年8月9日開催 2014年3月期第1四半期決算説明会での主な質疑応答

Q1 第1四半期の海外事業の売上・利益の計画比を教えてください。

売上については、円ベースでは10%強、現地通貨ベースでは5%強、計画を上回っています。利益については、円ベース、前年同期比では、営業利益は12%減、経常利益は開業費等のコスト増があり半減しております。ただし、計画比では、円ベースでも、現地通貨ベースでも、ほぼ計画通りです。

Q2 北米は計画通りか？Ruffles® Crispy Friesの生産ラインの増設は決定したか？

第1四半期は立ち上がりということでそれほどアグレッシブな計画をたてておりません。ほぼ計画通り、進捗しています。Ruffles® Crispy Friesは、5月20日からセブンイレブンで先行独占販売をして、現在は全国展開のテスト販売時期になります。8月下旬に本格販売が開始される予定です。毎月の売上はまだ1百万ドルに満たない状況ですが、非常に評判がよいので、8月下旬以降は受注拡大が期待できますので、年間販売目標12百万ドルは達成できると考えております。8月以降の状況を見ながら、フリトレーと協議して今後の設備投資プランを決定します。Harvest Snapsについても計画通り、順調に売上が拡大しています。

Q3 中国は計画通りか？今年度中にJagabeeの生地工場を作り、それによって販売価格を下げるという戦略をとるのか？

中国も第1四半期は立ち上がりということで高い計画値を設定していませんでしたので、ほぼ計画通り進捗しています。Jagabeeの販売価格については、キャンペーンをうって、いろいろな価格帯を試しているところですが、どのくらいの価格なら受け入れられるか、感覚としてはつかめてきましたので、価格や内容量を見直し、徐々に展開していく予定です。

Q4 国内が好調に推移した要因を教えてください。

ポテトチップスは、4、5月の競合会社の積極的な店頭プロモーションによってシェアを落とし、計画割れとなりました。ポテトチップスの減少分をフルグラやコーン系スナックがカバーし、全体では計画を上回りました。ポテトチップスの売上・シェアは足元では回復基調にあります。6月の増収率は4、5月に比べると低下しましたが、6月は前年より稼働日が1日少なかったことによる影響が4%程度ありますので、モメンタムが大きく変化したということではありません。

Q5 原価改善のうち、集中購買の推進による効果について教えてください。

原材料価格の上昇185百万円は主として円安によるものです。集中購買の推進120百万円は必ずしも今期の集中購買によってもたらされたものではなく、円安が進む前に先行して押さえた効果も入っています。

Q6 通期で21億円のコスト・リダクションを見込んでいるが、達成可能か？

第1四半期のコスト・リダクションの実績は4億円で年間計画の20%ですが、中国や北米のRuffles® Crispy Friesの赤字やベーカリー事業の業績悪化を国内スナック事業の生産性向上でカバーして達成した数字ですので、通期の計画は達成できると考えております。

Q7 販売費が計画を上回っているが、通期の見通しは？

販売費は、売上との関係があり、厳密にコントロールするのは難しいところがありますが、国内については、このペースで第2四半期以降も使い続ける考えはありません。一方、海外では、今が投資の時期ですので、積極的に販売費を投下していきます。販売費の増加9億円のうち、2億円が海外です。

Q8 営業利益率が9.6%と上昇しているが、何か特殊要因があったのか？第2四半期以降もこのペースで収益改善が進むのか？

前第4四半期に先行投資ということで前倒しで消耗品の購入等を行いましたので、若干第1四半期に余裕はありました。また、上期は、原材料価格が上昇する前に押さえた食油やフィルムなどがありますので、前年対比での削減効果は、下期よりも上期に、より大きく表れる見通しです。ですから、原価改善がこのペースで年度末までいくかという、そこまで楽観視しておりません。稼働率もかなり上がってきていますので、以前のように売上が上がれば必ず原価が下がるかという状況にはありません。下期に原材料価格自体は上がってくる見通しですが、これに対して価格戦略を見直す予定はなく、コストダウンで吸収し、通期の計画を達成する考えです。

Q9 Vegipsの規格改定について、価格は据え置きで増量したのか？

お客様から内容量が少ないという声を多くいただきましたので、お客様の要望にお応えする形で、内容量を増量しました。売価は変えておりません。増量によってコストを圧迫しないように、原料調達、生地製造、工場が協働して、原価低減の取り組みを進めております。

Q10 フルグラの長期的な成長可能性について教えてほしい。

これまでのシリアル市場はコーンフレークが主流でしたが、グラノーラという新しい市場が確立されたと考えております。現在、工場はフル稼働しておりますが、供給が間に合わず、期間限定品や一部のサイズの生産を中心しておりますので、それを考慮するとポテンシャルはかなり高いと思います。今年度末に生産能力を120億円まで拡大しますが、長期的には120億円を超す需要になると思います。

Q11 台湾のJagabeeの今期の投資額と生産能力を教えてほしい。

生産ラインを1本追加します。今回の投資額は5億円で、それによって生産能力は10億円増加します。既存のラインと新規のライン合計で20億円の生産能力になる予定です。

Q12 消費税が増税になった場合の価格戦略は？

増税分すべてを価格に転嫁するというのは、今のマーケットの状況では非常に厳しいという認識です。コスト削減で吸収したいと考えていますが、それ以外にも、何らかのアクションをとらざるを得ないということも可能性としてはあると思います。来期のビジネスプランで議論していく大きな課題の一つだと考えております。

以上